

2026年度	科目名	教材・授業研究特論(1)
	英語名	Advanced Seminar on Instructional Materials and Lesson Study( I )
	科目属性	専門科目 A群
	担当教員	坂田 映子
	単位数	2単位(SC 0.25単位)

**【授業の目的・ねらい】**

**【授業の概要】**

本特論 I では、学習理論、授業デザイン、教授法等の理論的背景及び最近の動向について理解し、各教科等多様な授業に対応する学習プログラムを構想し、教材開発等オリジナリティのある教育実践を試行する。また、カリキュラム・マネジメントによる授業改善により、未来を担う学習(修)者の資質・能力の向上に寄与できることを目的とする。

**【授業の到達目標】**

1. 学習理論、教授法等の理論的背景及び最近の動向から、理論と実践の両輪による授業の在り方について理解できる。
2. 授業デザインと方法について理解できる。
3. オリジナリティのある単元及び学習プログラム等の構想ができる。
4. 単元等計画及び教材開発(P)・実践(D)・評価(C)・改善(A)を通して、実践的・専門的な力を高め、学習(修)者の資質・能力の向上に寄与できる。

**【授業計画】**

- 第 1 回 学習理論・教授理論と授業
- 第 2 回 学習環境と授業
- 第 3 回 メタ認知・概念学習と授業
- 第 4 回 教材開発と教材研究
- 第 5 回 授業を作り上げる指導過程
- 第 6 回 授業研究(レッスンスタディ)の在り方
- 第 7 回 授業デザインと方法
- 第 8 回 カリキュラム・マネジメントと授業改善
- 第 9 回 授業評価と分析の仕方
- 第10 回 試行的学習(学修)プログラムの構想、オリジナリティの探究①(P)
- 第11 回 試行的学習(学修)プログラムの指導法の開発②(P)
- 第12 回 試行的学習(学修)プログラムの実践(D)
- 第13 回 試行的学習(学修)プログラムの評価(C)

第 14 回 試行的学習(学修)プログラムの授業改善(A)

第 15 回 まとめ

**【評価方法】**

「スクーリング評価」(25%)、「レポート評価」(25%)、「科目修得試験」(50%)による総合評価。

**【教科書】**

- 1 高垣マユミ編著.(2010)『授業デザインの最前線Ⅱ－理論と実践を創造する知のプロセス』北大路書房.  
ISBN 978-4-7628-2708-2 C3037
- 2 大島 純・千代西尾 祐司(編著)(2019)『主体的・対話的で深い学びに導く 学習科学ガイドブック』北大路  
書房 ISBN:978-4-7628-3080-8
- 3 菊地 章(編)兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科共同研究プロジェクト(w)研究グループ(著).  
(2021)『博士号につながる「教科教育実践学」論文の書き方－院生・修了生・教員が明かすアクセプトの秘  
訣－』九州大学出版会 ISBN978-4-7985-0297-7

**【参考図書】**

- 1 平山満義 (2017)質的研究法による授業研究：教育学／教育工学／心理学からのアプローチ
- 2 白井 俊 (2020) OECD Education2030プロジェクトが描く教育の未来:エージェンシー、資質・能力とカ  
リキュラム